

《というみ敏行 6月活動報告》

「原発ゼロ」「集団的自衛権容認反対」など 多彩な取り組みに参加

市議選予定候補：というみ敏行



みなさんこんにちは、というみ敏行です。

6月は多彩な取り組みに招かれるなど、候補者活動が大きく広がりました。

4日に行われた浦和年金者組合の総会にお招きいただき、連帯の挨拶と立候補の決意を述べさせていただきました。浦和区での議席回復に向けて改めて支援をお願いすることができました。

毎年行われている埼玉土建南支部の「住宅デー」は生憎の雨でしたが、区内の全ての分会をお訪ねして、一人ひとりの組合員さんにご支援をお願いし、赤旗日曜版も2部拡大することができました。

11日に行われた、「福島の実状を知るバスツアー」にも、総勢37人の参加者の1人として参加し、いわき市、檜葉町、富岡町など、津波と原発の被害の実態を自分の目で確かめることができました。

檜葉町、富岡町では、家々がそのままの姿で取り残され、人の住めない「ゴーストタウン」と化していました。

東電や国の保障も進まず、道路1本隔てただけで補償内容を変えるやり方に怒りを覚え

ました。改めて、原発被害の重大さを認識し、「原発ゼロ」実現の思いを参加者のみなさんとともに確認することができました。

また、この6月は、安倍政権と自民・公明の与党による「集団的自衛権容認」に向けた暴走政治と真正面から戦うことになりました。

朝の駅頭宣伝や、夕方の署名活動では、通行人の方からも、「頑張っ！」「憲法守ろう！」など、大きな反響があり、特に高校生などが関心を示しているのが特徴的でした。

7月1日に、閣議決定はされましたが、今後の秋の臨時国会で10数本の法案が審議されます。この戦いで必ず暴走政治にストップをかけます。同時に、来年の市議選は、この問題が大きな争点にもなります。全国での日本共産党の躍進で安倍政権の暴走に「ノー」の審判を下しましょう。

住民要求の問題では、「県立南児童相談所跡地を公園にする会」のみなさんと、市の公園



児童相談所跡地のアンケート結果と要望書を提出

課を訪ね、アンケート結果を持って要望書を提出しました。公園課長からは、今後の日程が説明され、本格的に公園建設が始まることを確認しました。

いよいよ7月を迎えました。今年は冷夏との予報が例年並みの猛暑と修正されました。熱中症など十分気をつけて、熱い夏を乗り切りましょう。

尚、6月の訪問件数は125軒でした。

物売りの声から

領家：野々垣 務

わが家の物干し竿がもう40年近くつかっていたせいか腐食してきたので買い換えようと思っていたところ、久しぶりの「竹竿やー、竹竿」の声を聞きさっそく飛び出して買い求めた。

1本3千8百円、2本で7千円であった。軽トラックに積んで売り歩くおじさんは70歳を過ぎているという。

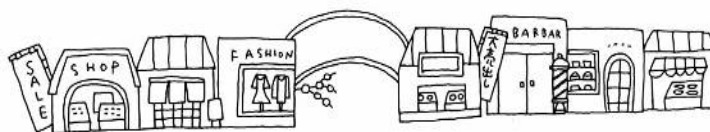
しばらく立ち話をした。ホームセンターに勤めていて退職したが6万円程度の年金では生活が出来ないのでと言う。最近は1日に1本も売れない日もあり、新居に移ってきた人も古いのを使っていて買わないらしい。みんな生活を切りつめているんでしょうねとしみじみ語っていた。こんなところにも政治の貧困のしわ寄せがきている。

かつては、四季折々に物売りの声が露地のあちこちに響いて庶民の暮らしの息づかいが感じられたものだが、今やスーパーやコンビニに取って代わられ寒々とした街になってしまった。夕餉近くになると豆腐やさんが来て、器とお金を用意して待っていたものだ。それに野菜など背負ったおばさんや魚の行商やさんも定まったようにやってきた。夏には金魚売りやキャンデー売りもきて子ども心をわくわくさせたものだ。こんな風に街には人間の温かい交流があった。

成長戦略だ、経済の競争だとどこの話かと

思う。津々浦々に経済の豊かさを行きわたらせると安倍君は言うが、もっと庶民の暮らしをつぶさに見ろと言いたい。この自然豊かな小さな島国に武器も兵隊もいない。庶民はつつましくも穏やかで平和な暮らしを望んでいるのです。

〈いのち〉の循環を支え合うことがすべてに最優先させるべきです。福井の大飯原発再稼働停止の司法判断は「人格権」を最上位に位置づけました。すばらしい判決でした。



浦高通りのセレモニー建設は？

今、浦高通りの両側の舗道にセレモニー建設反対の赤い幟が立ててある。一見浦和レッズの幟と見まごうもの。

元の積田電業のビルの跡に建てる予定で、すでに解体が終わって更地になっている。この通りは車や人の激しい通りで、この狭い場所に会葬者の車や人が来ると混乱することが予想される。今、商店街の人たちが1,500名の反対署名を集めて業者と市にも交渉しているがラチがあかないと言う。

もともと、駅近くのHOPビルの跡地に建てる予定が反対されてここに移ってきた。

真向いの小川インテリアの店主が会長で、住民・商店街の人たちの要求をまとめている。阻止するのは難しいと商店街の人が言っている。共産党の方にも商店街の声を聞いて協力してほしい。
(地域住民の声)



福島現状を知るバスハイク 悲しみと怒りの声！声！声！

6月11日、37名の参加者で3年3か月経った檜葉町、富岡町の現状を見て来ました。伊東達也さんの現地案内で大変貴重で有意義な見聞となりました。帰りのバスの中で感想発表をしましたが、とにかく読んでみてください。

- ◆福島の町に初めて来て、みんな一生懸命頑張って生活していることがわかった。人の姿がなくて話せず残念だった。
- ◆伊東先生にお会いでき話を聞いていろいろな問題があると感じた。檜葉や富岡はゴーストタウンになっていた。立派な家があるのにもったいないな—あ、悔しいと思っているだろう—と思った。
- ◆恐ろしいことだな—と思った。
- ◆福島の問題は私たちの問題なのだな—。自分の目で見たことは大事なんだな—と思った。
- ◆先生の解説があったから余計リアルに感じた。家に帰って近所の人に教えたい。
- ◆45年ぶりに行ったが自然は全く変わってない。鳥も鳴いている。放射能の目に見えない恐ろしさを感じた。
- ◆テレビで見ていたけど、言葉が出てこない感じでした。
- ◆びっくりした。自然災害だけであつたら復興できただろうに。人災だ。この国をどうしていくのか。初孫のためにどうしていくのか。考えさせられた。
- ◆人の姿が見えない町は不気味。でも、自然は豊かでバラも咲いていた。放射能汚染地域は点ではなくて広い面（東京都の半分）になっている。この後自分に何が出来るか考えている。



宝鏡寺前で伊東達也さん



3年前の2時46分で時が停止・富岡



被害を受けたままの富岡駅ホーム

- ◆貴重な体験ができた。福島原発でつくられた電力が東京に送られるのは現地在が犠牲になっていてあわないな。自分のライフスタイルを見直して自然に対しても真摯に考えていきたい。
- ◆女川でのボランティアを思い出した。それでも人々が頑張っていてホッとする感じだった。今日は、人の営みがない人々の生活のにおいがかき消されてしまっている町を見て怒りを覚えた。日常的に取り組んでいるが、原発のない世の中を作るために頑張っていきたい。
- ◆自分の目で見られた。身に染みて感じた。子ども達にもつげが回ってくる。
- ◆広島育ちなので広島でもこんなことだったんだろう—と想像してしまった。
- ◆低線量被曝はこれから出てくる。海外にも輸出しようとしている。許せない。東京の生協で活動していて、被害を少しでもくいとめるためにドングリの木を植える運動を進めている。
- ◆初めて来た。テレビや新聞よりも実物を見てよくわかった。全然復旧が進んでいない。福島的设计はアメリカのコピーで、電源は海面より低い地下だった。財界の思いでアメリカ流が建てられている。もうけのためにやっている。
- ◆想像以上のことでした。街は崩壊し、廃墟のまま。安倍首相はコントロールされていると言うが、放置されていると感じた。大飯裁判で国富と言っているが、ここでは国富がなくなっている—と思った。
- ◆あそこまでひどいとは思っていなかった。福島の人たちが、「故郷」は二度と歌いませんと—言った気持ちがわかる。これからどのようにこの運動に関わっていくか考えさせられた。何もできないけれど頑張っていきましょう。
- ◆想像をすることもできないような現実。
- ◆豊かな国土に根付いたものを国富という。原発反対を盛り上げましょう。
- ◆富岡駅前の新築住宅のマイホームローンただ

にしる。気の毒だと思った。原発再稼働許しません。

- ◆賛成派、反対派のせめぎ合いの中で、反対派の方に考えを改めればいいと思った。原発はダメです。
- ◆もう元にもどらない。
- ◆一人だったら来なかつたらう。家に帰ったら伊藤先生のレジュメを改めて読みたい。友達に話したい。(うまくわからせるためにはどうしたらいいか)
- ◆伊東先生の話聞くのは2度目。たくさん話してもらえたが、解決のつかないことばかり。鳥海さん頑張って下さい。
- ◆伊東先生に話を初めて聞いて、先生が悩みながら運動していることがわかった。
- ◆今回だけではなくこれからも時々バスを走らせてどのくらい復興しているか見て行ければ。
- ◆個人ではなかなか体験ができない企画を作ってくれた幹事のみなさんありがとうございました。(石川・記)

《街角だより》 わが街の「パン屋さん」

岸町:佐々木 幹広

岸町3丁目1番地、この閑静な住宅地の一角に小さなパン屋さんがあります。お店の名は「モン・ブルー」、「モン・ブルー」はアルプス最高峰モンブランのフランス語読み、一歩店内に入ると天然酵母によって焼かれたパンの香りが店内いっぱいに漂っています。

明るい白壁の一隅にあか抜けした都会風の絵が目に入ります。食欲を誘うトッピングの色々なオリジナルなパンがずらりと棚の上に並んでいます。入口前のちょっとした広場にはイス、テーブルが置かれていて昼食時にはここで焼きたてのパンをほおぼり談笑している家族も見られます。喧騒から離れた住宅地の中にすっかり溶けこんだパン屋さんです。店主によると「消費税の値上がりで大へんです。商売を続けていく以上納めていけるように努力を続けています。」と話していました。



★早船ちよ生誕100年のつどい

7月19日(土) 13:30~16:30

北浦和カルタスホール(クイーンズ伊勢丹3F)

資料代:500円

主催:早船ちよ生誕100年のつどい実行委員会
浦和北9条の会

★国民平和大行進

7月19日(土) 13時北浦和駅西口集合

13:30~行進(約2km)

主催:原水協国民平和大行進浦和区実行委員会

★7・21オールさいたま市民集会

—— STOP! 安倍の暴走 ——

7月21日(月)北浦和公園

集会開始:午前10時~

パレード出発:11時~

主催:7.21オールさいたま市民集会開催実行委員会

★憲法と人権を考える市民のつどい

集団的自衛権を認めるのか!?

7月31日(木)午後6時開場 6時半開会

埼玉会館大ホール

主催:埼玉弁護士会

★2014平和のための埼玉の戦争展

8月2日(土)~4日(月) 10:00~18:00

(4日は15:30まで)

浦和駅西口前コルソ7階ホール

主催:「2014平和のための埼玉の戦争展」実行委員会

安倍政権の暴走ストップ!

共産党演説会 INさいたま

8月31日(日)午後2時開会

埼玉会館大ホール

弁士 山下 芳生 書記局長

☆《編集後記》☆☆☆
W杯ベスト8が決まり
いよいよ佳境へ。優勝国予
想で舌戦をかわしながら
のテレビ観戦。しかし、集
団的自衛権行使の閣議決
定はのんびりニュース視
聴どころではない。即時撤
回させなければ。ルビコン
川を渡った安倍暴走政権
にレッドカードを突き付
け、一刻も早く退陣を願
いたい。浦和区の地域情報
をお寄せ下さい。(きよた)